

昭和
100年
1926—2026

特別展

なめりかわ 昭和レトロ博

～ マチ・コト・ヒト・モノ ～

観覧料 /
無料

令和8年

7月18日(土)
～9月6日(日)

会場 滑川市立博物館3階

休館日 月曜日(7月20日・8月10日は開館)、7月21日(火)

開館時間 午前10時～午後6時 ※最終入館は午後5時30分

主催 滑川市教育委員会・滑川市立博物館

協力 昭和レトロ館 吾楽俊

物語「なめりかわの昭和」(全3回)

【話し手】辻沢賢信さん (滑川市立博物館協議会 前会長)

〈1回目〉8月2日(日) 午後2時～ 会場/滑川市立博物館
「鉄道に歓声、そして電気争議も」

〈2回目〉8月23日(日) 午後2時～ 会場/田中小学校旧本館
「時代を切り拓いた人々①～石坂家3代、加藤金次郎～」

〈3回目〉8月30日(日) 午後2時～ 会場/滑川市立博物館
「時代を切り拓いた人々②～緑嵩友之助、梅原真隆、高階哲夫～」

※各回90分程度 申込不要

展示解説会

7月18日(土)、26日(日)、8月9日(日)、
11日(祝)、15日(土)、29日(土)、9月6日(日)

※各日午前11時～、午後2時～(45分程度) 申込不要

滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676 TEL:076-474-9200 FAX:076-474-9201 E-mail:hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp

特別展

なめりかわ 昭和レトロ博

～マチ・コト・ヒト・モノ～

令和8年(2026)は、昭和改元から100周年にあたります。戦争と復興、高度経済成長、暮らしの変化——。激動の時代であった昭和のなかで、人々の営みとともに、滑川の町並みや文化、生活もまた大きく移り変わってきました。本展では、写真・地図・新聞・文書・生活道具をはじめとした、地域に残されたさまざまな資料を通して、「マチ」「コト」「ヒト」「モノ」の4つの視点から、滑川が歩んだ昭和の時代をたどります。懐かしい風景や道具の数々、その時代を生きた人々の姿からは、単なるノスタルジーだけではない、昭和という時代の力強さや豊かさを感じていただけることでしょう。ふるさと滑川の昭和をあらためて見つめ直し、世代を越えて語り合うきっかけとなれば幸いです。それぞれの“あの頃”に、ぜひ出会いに来てみませんか。



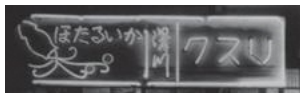
①中滑川-橋場線周辺(昭和37年頃)、②完成したあづま公園(昭和34年)、③櫛原神社前の山車曳き(昭和10年代頃)、④晒屋通り(昭和48年頃)、⑤滑川駅前団地(昭和50年頃)、⑥滑川町消防庁舎前のポンプ車(昭和20年代後半頃)、⑦滑川インターチェンジ(昭和56年頃)

マチ

写真や地図から見る
滑川のうつりかわり



「富山県滑川町鳥瞰図絵(部分)」
(昭和11年頃)



「国鉄滑川駅の電飾看板」
(昭和26年)

コト

電気争議や富山地方
鉄道海岸線構想
など、昭和の滑川
の出来事



「電灯値下争議雑書」

「滑川町営電気期成同盟会」看板
(ともに昭和3年)

ヒト

昭和を生きた
滑川ゆかりの人々



高階哲夫



黒田松次

モノ

暮らしを支えた道具や
家電製品の世界



氷冷蔵庫



蓄音機

問い合わせ先

滑川市立博物館

〒936-0835 富山県滑川市開676
TEL: 076-474-9200 FAX: 076-474-9201
Mail: hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp



博物館HP



ミュージアムカフェ

10:00～15:00

焼き菓子も
取り扱っています



博物館SNS

■コミュニティバス時刻表(大日・室山ルート)

滑川駅前	12:00	14:40	17:32
博物館前	12:19	14:59	17:51
開	12:40	15:20	18:12
滑川駅前	13:03	15:43	18:35

■公共交通機関

あいの風とやま鉄道(滑川駅)、富山地方鉄道(滑川駅・中滑川駅)からコミュニティバス(のるmycar:大日・室山ルート)で、「博物館前」下車すぐ、「開」下車徒歩3分。滑川予約型乗り合い交通「よぶマイカー」も利用可。

■自動車

北陸自動車道・滑川インターチェンジから約3分。国道8号線・稻泉交差点から約7分。

■よぶマイカー

